

第2刷で訂正

上巻		
頁	誤り	正
72頁 図Ⅱ-1-4	棒グラフ「細胞内液」有機リン酸塩	リン酸塩
82頁 図Ⅱ-1-15	引き出し文字「咽頭隆起(甲状軟骨)」	「喉頭隆起(甲状軟骨)」
116頁 上から13行目	…鼻腔にはじまり咽喉頭, 気管…	…鼻腔にはじまり咽頭, 喉頭, 気管…
120頁 下から8行目	…胸膜を肺胸膜, …と呼ぶ。肺胸膜と壁	…胸膜を臓側胸膜, …と呼ぶ。臓側胸膜と壁
122頁 下から8行目	…その径は約…	…その厚さは約…
124頁 上から10行目	…は平衡して一定の関係があり, …	…には一定の関係があり, …
170頁 図Ⅱ-1-110	中葉	中葉とそれをさす矢印削除
171頁 上から6行目	…授乳期の乳汁分泌も促進する。	…授乳期の乳汁の射出を促進する作用もある。
180頁 図Ⅱ-1-115	図なかほどのトロンビンからフィブリノゲンへの→	トロンビンからの矢印はフィブリノゲンとフィブリンへの→へ
198頁 上から15行目	蛋白質を構成するアミノ酸のうち20種類は…	蛋白質を構成する20種類のアミノ酸のうち9種類は…
200頁 下から2行目	760mmHg × 0.21% = 160 mmHg	760 mmHg × 21% = 160 mmHg
201頁 1行目	山頂上では470mmHgで海拔0mの約2/3, 世界の最高峰約8,850mのエベレスト山頂では235mmHgで海拔0mの約1/3となる。…	山頂では海拔0mの約2/3, 標高8,848mのエベレストの頂上では海拔0mの約1/3になる。…
203頁 上から18行目	…酸素と結合したときを100%となる酸素と結合して	…酸素と結合したときを100%として, 酸素と結合して
403頁 表Ⅲ-2-4		肝不全によるはさみ足歩行は間違いではないが, まれであることから, 表Ⅲ-2-4から「肝不全」を削除
下巻		
頁	誤り	正
591頁 表Ⅲ-3-1	慢性閉塞性肺疾患の項 副呼吸筋の発達	呼吸補助筋の発達
591頁 表Ⅲ-3-1	肺結核後遺症の項 上室不整脈を…	上室性不整脈を…
593頁 下から13行目	…(肺活量が, 性, 年齢, 身長, 体重から…	…(肺活量が, 性, 年齢, 身長から… (体重を削除)
594頁 表Ⅲ-3-2	呼吸の項 全肺野呼吸音の減弱*	全肺野呼吸音の減弱 (*を削除)
799頁 最後の行	…低血糖時にブドウ糖を頸静脈投与…	…低血糖時にブドウ糖を経静脈投与…
800頁 表Ⅲ-5-24	「不足↓」の2行目 下垂体機能低下症	続発性副腎皮質機能低下症
822頁 上から16行目	…輸液の適用になる。	…輸液の適応になる。

822頁 下から14行目	I型アレルギーによる。……	削除
876頁 上から14行目	母親の口中内にある本ウイルス……	母親の口腔内にある本ウイルス……
899頁 下から19行目	……肝機能異常(elevated live renzymes), ……	……肝機能異常(elevated liver enzymes), ……
981頁 下から19行目	第3頸髄より上位の頸髄損傷では……	第3頸髄節より上位の頸髄損傷では……
987頁 上から2行目	……気胸, すなわち胸腔内に空気が……	……気胸, すなわち胸膜腔に空気が……
987頁 下から12行目	……胸壁の創部に胸腔内へ向かう……	……胸壁の創部に胸膜腔へ向かう……
987頁 下から11行目	……呼気時に胸腔内に流入した空気……	……呼気時に胸膜腔に流入した空気……
987頁 下から10行目	……しだいに胸腔内に蓄積する。……	……しだいに胸膜腔に蓄積する。……
988頁 下から6行目	……吸気時に膨隆する奇異呼吸を示す。……	……吸気時に陥没する奇異呼吸を示す。……
1016頁 下から20行目	……上腕骨の遠位端が後方に転移する。……	……上腕骨の遠位端が後方に転位する。……

第3刷で訂正

上巻		
頁	誤り	正
90頁 上から9行目	内果: 腓骨の内側下端部分(ウチクルブシ)。	内果: 脛骨の内側下端部分(ウチクルブシ)。
420頁 上から16行目	充血がみられる場合には急性緑内障発作である可能性が高い。	の充血(毛様充血)がみられる場合には急性緑内障発作である可能性が高い。

第4刷で訂正

上巻		
頁	誤り	正
542頁 上から5行目	⑬鼻腔・口腔の順で羊水や分泌物を吸引する。	⑬口腔内・鼻腔内の順で羊水や分泌物を吸引する。
下巻		
頁	誤り	正
730頁 表Ⅲ-5-7最下段のパラグラム右段	慢性低酸素血症, 慢性閉塞性肺疾患	, 慢性閉塞性肺疾患を削除
1073頁 上から3行目	医療機関では, ヒ素中毒と同様, 亜硝酸ナトリウム……	医療機関では, シアン中毒と同様, 亜硝酸ナトリウム……

第5刷で訂正

上巻		
頁	誤り	正
80頁 図Ⅱ-1-10体幹骨格の透見図 a:前面図	1番下の引き出し線の位置	5mm上の尾骨を指すものに変更
137頁 下から13行目	血液分布は、静脈系に全体の約70%が分布しており...	血液分布は、静脈系に全体の約60~70%が分布しており...
149頁 図Ⅱ-1-91 b:大腸壁の微細構造 右最下段の引き出し文字	粘膜下層	漿膜下層
261頁 図Ⅱ-3-1 タイトル	毒物と劇物の表示	毒薬と劇薬の表示
261頁 上から1行目	薬事法では...	薬機法では...
266頁 上から10行目	...LD ₅₀ (leathal dose 50, 50%致死量)...	...LD ₅₀ (lethal dose 50, 50%致死量)...
269頁 上から11行目	...塩化ナトリウム0.6g...	...塩化ナトリウム6g...
316頁 下から12, 13行目	背部叩打法のみを行う。...	背部叩打法と胸部突き上げ法を併用する。...
358頁 表Ⅲ-1-29最右列1行目	養成機関	養成期間
386頁 上から9行目	...最低で2日間, 最長で4週間程度持続する	...最低で3日間, 最長で4週間程度持続する
447頁 図Ⅲ-2-38 1番右で下から5番目の囲み	電極コードを抜く	電気器具のコードを抜く
464頁 写真Ⅲ-2-37 右上の写真の説明文②の2行目	...抵抗を感じなくなるところまで挿入する	...抵抗を感じるところまで挿入する
下巻		
頁	誤り	正
624頁 下から5, 6行目	...社会復帰率は22.2%であった。市民により目撃された心原性心肺停止症例のうち、居合わせた市民によって心肺蘇生を受けたのは44.3%で、...	...社会復帰率は22.4%であった。心肺停止症例のうち、居合わせた市民によって心肺蘇生を受けたのは44.9%で、... (「市民により目撃された心原性」を削除)
687頁 上から2行目	一般に、体温が1℃上昇するごとに心拍数は18/分増加することから、	一般に、体温が1℃上昇するごとに心拍数は8~10/分程度増加することから、
808頁 下から4行目	...低血糖を自覚する閾値が低下し、...	...低血糖を自覚する閾値が上昇し、...
907頁 上から1, 2行目	...合計点で3点未満が重症新生児仮死と判断される。5点未満は危険と考えてよい。	...合計点で3点以下が重症新生児仮死と判断される。 (「5点未満は危険と考えてよい」を削除)
1084頁 下から10行目	...(食道心臓発作)とも呼ばれる。...	...(食堂心臓発作)とも呼ばれる。...
1112頁 上から4行目	...必要に応じた汚染	...必要に応じた除染

第6刷で訂正

上巻		
頁	誤り	正
136頁 下から15行目	…全血液量の約60%は常に静脈に存在している	…全血液量の約60～70%は常に静脈に存在している
378頁 表Ⅲ-1-36 左から2列目「消毒液」の上から3つめ	次亜鉛素酸ナトリウム	次亜塩素酸ナトリウム

第7刷で訂正

上巻		
頁	誤り	正
30頁 8～9行目	…5～14歳は不慮の事故, …	…5～9歳は不慮の事故, 10～14歳は悪性新生物, …
31頁 欄外注	…20以下を痩せ, 24以上を肥満としている。	削除
71頁 Point! 下から6行目	濃いほうから薄いほうへ…	薄いほうから濃いほうへ…
73頁 14行目 ヘンダーソン・ハッセルバルヒの式, 分数部分の分母	PaCO ₂ (二酸化炭素分圧)	0.03 × PaCO ₂ (二酸化炭素分圧)
231頁 16～17行目	…電解質異常(低カリウム血症)などがみられ, …	…電解質異常などがみられ, …
240頁 23～24行目 (「(5)神経栄養性萎縮」説明の2文目)	脊髄損傷により下肢が動かなくなると下肢が細くなる。	同頁の17行目と18行目の間(「(3)廃用性症候群」説明の末尾)へ移動
270頁 3行目	…38分子の…	…36分子の…
275頁 1行目	…「アスピリン喘息」を誘発しない。…	…「アスピリン喘息」を誘発しにくい。…
287頁 図Ⅲ-1-1 縦軸の単位	(百万件・百万人)	(万件・万人)
331頁 表Ⅲ-1-13 「脳機能カテゴリー(CPC)」の「(3)CPC3:高度障害」説明の2行目	…Looked-in 症候群のように…	…Locked-in 症候群のように…

477頁 9～10行目	(3) 開口時、上下の門歯間が 3横指以下 、下顎から舌骨までが 3横指以下 、甲状軟骨から胸骨上窩までが 3横指以下 のような場合。	(3) 開口時、上下の門歯間、下顎から舌骨まで、甲状軟骨から胸骨上窩までが それぞれ3横指より狭い 場合。
548頁 4～5行目	・・・電気ショック後は、その結果にかかわらず直ちに胸骨圧迫を再開して、約2分後に心電図の波形を確認する。	・・・電気ショック後は、その結果にかかわらず直ちに胸骨圧迫を再開して、約2分後に 胸骨圧迫を中断して 心電図の波形を確認する。
548頁 7～8行目	・・・QRS 波形を認めれば 胸骨圧迫を中断して 、頸動脈の拍動を確認する。・・・	・・・QRS 波形を認めれば、頸動脈の拍動を確認する。・・・
下巻		
頁	誤り	正
651頁 表Ⅲ-4-15 4行2列目(「高浸透圧高血糖症候群」の「判断の手がかり」)	糖尿病の既往、怠薬/ストレス、 呼気臭 、 深大性呼吸 、皮膚・粘膜の乾燥	糖尿病の既往、怠薬/ストレス、皮膚・粘膜の乾燥
747頁 「A 総論」2～3行目	平成25年の心疾患による死亡数は 196,547 人、人口10万人当たりの死亡率は 156.4 で、・・・	平成25年の心疾患による死亡数は 196,723 人、人口10万人当たりの死亡率は 156.5 で、・・・
782頁 下から5～6行目	・・・腹痛は腹部全体に起こり持続的(体性痛)である。・・・	・・・腹痛は腹部全体に起こり持続的である。・・・
808頁 表Ⅲ-5-29 2行2列目(「70未満」の「症状」)	空腹感、欠 神 、悪心	空腹感、欠 伸 、悪心
808頁 3行目	まず、空腹、欠 神 などが出現し、・・・	まず、空腹、欠 伸(あくび) などが出現し、・・・
842頁 図Ⅲ-5-44 図b 説明の2行目	・・・ 縮瞳 により・・・	・・・ 散瞳 により・・・
851頁 11行目	・・・病原体ではノロウイルスが 10,506件 で・・・	・・・病原体ではノロウイルスが 10,506人 で・・・
857頁 15～16行目	・・・ウェルシュ菌などを含む クロストリジウム属細菌 の・・・	・・・ウェルシュ菌などを含む クロストリジウム属細菌 の・・・